



あかるく かしこく たくましく

教育目標：夢や目標に向かい

あかるく かしこく たくましく行動していく子供の育成

宇城市立当尾小学校

令和7年 9月26日号

文責 田原里恵

前期後半スタートして1ヶ月。前期も残り2週間！

夏休みが終わり1ヶ月が過ぎようとしています。日中はまだまだ暑いですが、朝夕は過ごしやすさを感じる頃となりました。子どもたちはとても元気で、登校してすぐからも、運動場でサッカーしたり、中庭のブランコやジャングルジムで遊んだりしています。小運動場でサッカーしたり、鬼ごっこで走り回っている黄色い帽子の1年生もたくさんいます。すっかり学校生活にも慣れ、朝から元気に「おはようございます」とあいさつしてくれて、嬉しく思う毎日です。



5年生は、環境学習で水俣に行きました。～水俣に学ぶ肥後っこ教室～

熊本県内の5年生は、「水俣に学ぶ肥後っこ教室」で、熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館、国立水俣病情報センターを訪れ、学習を行います。当尾小の5年生も9月18日(木)に学習に行きました。

環境センターでは、主に水環境の学習を行いました。米のとぎ汁、みそ汁、洗濯排水、ふろの排水のパックテストを行い、汚れ具合を調べました。子どもたちは、それぞれに予想を立て実験に取り組んでいました。そして、水資源を大事にするために、自分に出来ることを考えました。

水俣市立水俣病資料館と国立水俣病情報センターでは、水俣病について学びました。資料をしっかりと見たり、必要な情報をメモしたりしました。語り部講話では、語り部の吉永理巳子さんのお話をお聴きしました。語り部講話は、御船町の学校の5年生と一緒にしました。子どもたちは、事前に学んだことを思い出しながら真剣に話を聴いていました。語り部の吉永さんは、講話の冒頭に、「水俣病は感染しません。遺伝しません。このことをみなさんにまずお伝えしたい」とおっしゃられました。子どもたちだけでなく、大人も、水俣病に対する偏見や差別に今も苦しんでいらっしゃる方がおられることをしっかり受け止め、自分事として自分に出来ることは何かを考え実践していくことがとても必要だと子どもたちも感じました。

→2名の児童が講話の感想を発表しました



大好き！見学旅行！

このシーズン、1～4年生も見学旅行を順次行っています。

3年生は、昨日25日(木)に、熊本市防災センターと熊本博物館に行きました。防災センターでは、けむりの中にある体験や地震を想定した揺れの体験、台風のときの風速20mの風の体験などを行いました。熊本地震の年に生まれた3年生ですので、大きな揺れを今回疑似体験し、「熊本地震のときはこんなに揺れたんだ」と感想を持った子どももいました。また、熊本博物館では、プラネタリウムを見ました。初めてプラネタリウムを経験する子どももいて、終日の学びが充実したようでした。



1年生は、本日26日(金)、熊本市動植物園に行っています。長年親しまれていたモノレールが今月末をもって終了するということもあり、連日多くの人々が動植物園を訪れているようです。出発前、子どもたちは、「動物をいっぱい見てきます」「乗り物に乗ります」とニコニコ顔で話してくれました。きっと楽しい1日になると思います。



地域みなさん、

ありがとうございます！

夏休み明けも、地域みなさんの力をお借りしながら、充実した学習を進めています。

3年生は、野口さんのレンコン畑で、レンコンの収穫を見学させていただきました。その午後には、お話もいただきました。

6年生は、家庭科の授業に、手縫い、その後のミシンと1組も2組も多くのボランティアの方々にお越しいただき、協力してくださいました。

本当にありがとうございます。

おもてなしが出来ずに申し訳ありませんが、今後よろしくお願い致します。

